

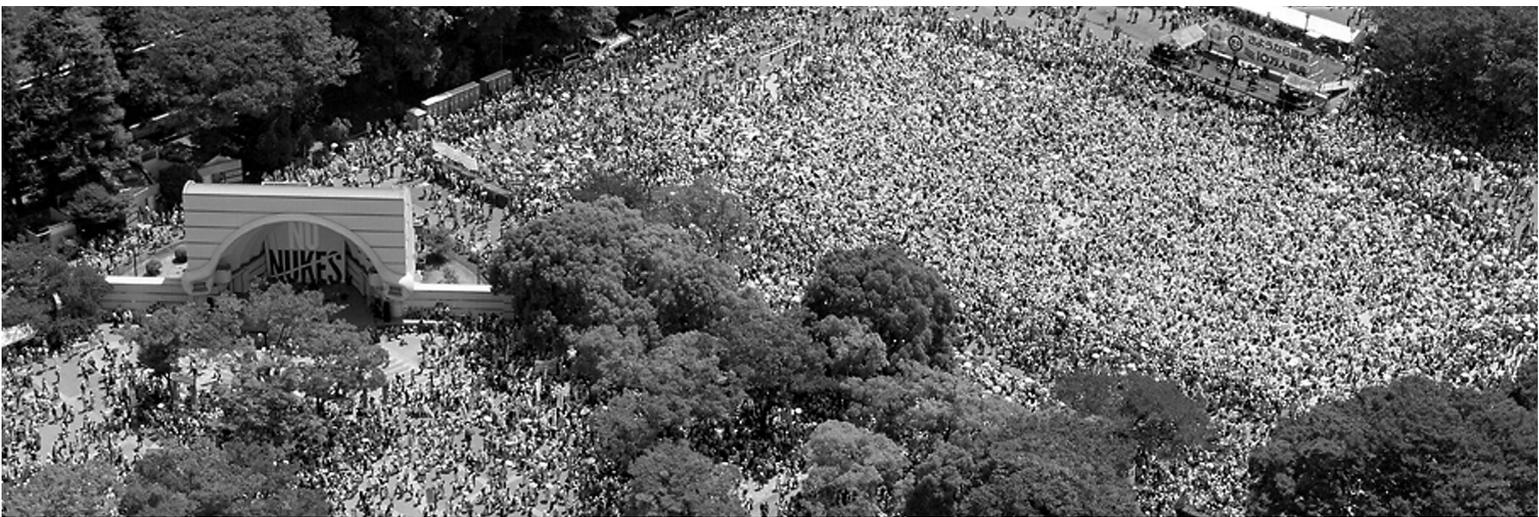
大阪府歯科保険医協会  
会誌  
発行人 志岐 敬  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
電話(06)6568-7731(代表)  
http://osk-net.org/  
●定価・年間10,000円 月1,000円  
●1977年5月23日第三種郵便物認可

東京・代々木公園

# さよなら原発 17万人

## 「撤退」迫る人の波

「大飯原発再稼働をよめる」「脱原発」——を求めて17万人が16日、東京・代々木公園に結集、野田内閣に原発からの撤退を求めた。予想を超える参加者で会場を埋め尽くした「さよなら原発10万人集会」は、大江健三郎氏・坂本龍一氏・澤地久枝氏・瀬戸内寂聴氏ら著名9氏が呼びかけ、「原発ゼロ」の実現をめざす様々な団体・個人が力を合わせ開かれたもの。参加者は「再稼働反対」「福島を返せ」など書いたプラカードやうちわ、横断幕を持ち寄った。協会からは小澤力理事長・小山榮三理事相談役・杉本徹理事・中村新太郎理事・古田光行監事・筒井潔評議員ら14人が駆けつけ、「原発なんていりません」と書いたゼッケンで参加した。



17万人が詰めかけた「さよなら原発集会」16日、東京・代々木公園、撮影：野田雅也(JVJA)

第一ステージでは、呼びかけ人7氏が訴えた。音楽家の坂本氏は「電気のために、子どもの命を危険にさらすようなことはすべきではありません。」

日本の国土を守りましょう。フクシマの後に沈黙していることは野蛮だ。作家の内橋克人氏は「この集会所が政府の方向を変えさせることになるか分かりません。それでも集まらな

心が一つになった  
連日首相官邸前での抗議行動は日に日に参加者が増え、先日は20万人にも達したと報道されている。「私もぜひ実感したい」との思いで参加した筒井潔氏(吹田市)は、

名を国会に提出した翌日、政府は再稼働を発表した。私たちは侮辱の中に生きている。政府もくろみを打ち倒さないといい、それは確実に打ち倒し得る」とアピールした。

## 協会から小澤理事長ら14人が参加



横断幕を掲げ再稼働阻止を訴える



ゼッケンで脱原発をアピール



デモ行進に出発する協会メンバー

## 大阪市と西成区へ撤回要請

大阪市内4地区

大阪市内4地区(北部・東部・西部・南部)は13日、橋下徹大阪市長に、①「生活保護法」による医療扶助のための医療を担うための機関の指定に関する要綱・制定の取り下げを求める②生活保護受給者の通院医療機関等を確保する制度の撤回を求める——要請書を提出した。同時に、西成区親西成区長にも同通院医療機関等を確保する制度の撤回を求め要請書を提出した。小澤力理事長・寺嶋洋幸理事らが要請した。

①は、生保患者を取り扱う医療機関の指定にあたり、その管理者等が過去5年間に不正・不当な診療等を行っていた場合に、新たに医療機関を指定を行わないことも取り下げを求めた。

②は、受給者が受診する医療機関を、原則各診療科につき1カ所とし、受給者に交付する「通院医療機関等確認証」に記載するもの。要請では、医療法や健康保険法・生活保護法に基づき、保険医療機関に十分な対応をしているにもかかわらず、処罰されながら一部医療機関を「頻回受診」「過剰診療」であるかのように行政が決めつけることに違和感を覚えるとしている。8月から実施しようとする同制度は生活保護行政の改善をめざすものではなく、生活保護受給者への意図的な偏見の助長、フリーアクセス権を含む受療権の侵害、医療機関へは応召義務の否定、抑圧的萎縮診療が前面に押し出されておき、遺憾と言わざるを得ない、と撤回を求めた。

**お知らせ**  
本紙8月5日付は15日付との合併号として発行します。お届けは8月10日ごろとなりますので、あらかじめご了承ください。  
(新聞部)

**歯界**  
医食同源と  
言いが義務教育でも保健体育と言おうように、スポーツは医療・保健と密接である。

スポーツ予算を増やせば医療費抑制につながる。と自信たっぷりに言うスポーツ関係者もいる。スポーツはビッグビジネスでもある。ヒーローやスターに莫大な商品価値が付加されるオリンピックやプロ・スポーツの世界だけでなく、障害者や高齢者が積極的に参加し、スポーツが日常生活の一部になっている。ロンドンオリンピック大会に先立って、6月25日から6日間ストックホルムで開催された第16回世界ベテラン卓球大会では61カ国の40歳以上の男女3500人以上が1方3500試合を戦った。テレビカメラが追っかけるようなお茶の間でのスターはいないが、競技者間では2年に一度の交流も長く人気者もいる。オリンピックも植民地を持つ金持ち先進国の男性だけのものから、女性参加、パラリンピック併催へと紆余曲折しつつ進化途上にある。